

「緑園」に輝く多久をゆく。



西溪公園

西溪公園は、多久出身の成鉱王「高取伊好」が私財を投じて整備した山水公園で、寒鴛亭や図書館（レンガ造りの書庫）とともに、当時の多久村に寄贈しました。春には約400本の桜やツツジ、秋には約180本の紅葉が公園をつつま一年を通して四季の変化を楽しめます。



多久聖廟

多久四代領主多久茂文が、教育を復興し敬の心を育むため、宝永5年（1708年）に建てた孔子廟で、茂文の多久を四霊の住む理想郷にしたいという思いが、今なお美しい彫刻や絵などで残されています。



まちのいたる所に緑豊かな佇まいがあり、市民の心に潤いを与える癒しの空間となっています。



孔子の里ジュニアガイドが選ぶ
多久の緑園①
もろえ あやの
諸江 綾乃さん



やっぱり西溪公園がきれいです。
多久聖廟も色々知ると楽しいですよ。

暮らしに輝く 多久の「緑園」



【ひまわり】



【バラ園】



【二千年ハス】



【桜】

四方を山々に囲まれた盆地に位置する多久市では、寒暖の変化とともに、色鮮やかな四季の移り変わりが見られます。

春は桜花の下で心地良い風に吹かれ、夏は太陽の日をいっぱいを受けたひまわりが元気よく咲き、秋は紅葉と夕陽に山が染まり、冬は一面の銀世界へと変わります。そして梅の香りが、また次の春を運んでくるのです。

こうした自然の恩恵を受けた食も豊かです。通常の大根よりも糖度の高い

「女山大根」や、非常に柔らかくトロツとした食感が美味の「桐岡なす」などの伝統野菜が古くから栽培されてきました。

また、まちを歩けば、その昔に火事の類焼防止のために植えられたという榎の生垣が小路を囲み、歩くだけで癒しを与えてくれます。

古くから自然とともに歳月を歩んできた多久市。まちを囲む緑園は、これからも暮らしに輝きを、人々に和みと癒しを与え続けてくれます。



孔子の里ジュニアガイドが選ぶ
 多久の緑園②
 ふじやま さやか
藤山 彩楓さん



春には桜、夏には新緑、秋には紅葉、
 冬には雪が広がります。



多久市
 インフォメーションシステム
「たくなび」

多久聖廟、西溪公園周辺のスポットが検索できます。そのほかの見どころ、食べどころも満載!



多久市の観光要素を網羅!!
 ぜひ活用してください。



船山キャンプ場／夏でも朝夕は涼しく快適なキャンプ場。展望台からの夜景も絶景です。



九州自然歩道／天山・八幡岳までのルートがあり、道中、四季折々の草花が目を楽ませてください。



孔子の里ジュニアガイドが選ぶ
 多久の緑園③
 おかだ みひろ
岡田 美洸さん



緑がいっぱいの多久は季節にあわせて咲く花もいろいろ。川の水もきれいで冷たくて気持ちがいいですよ。

